五明地区タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：（１）五明地区の地域おこし（２）地域の課題解決にむけて』

　平成28年3月27日（日）14：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 人口減少で存続の危機にあるような地域に対して、定住人口が増えるような対策をお願いできないか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、人口減少に歯止めをかけるため、人口の現状分析や人口推計、目指すべき人口の将来展望を示した「松山創生人口１００年ビジョン」と平成２７年度から５カ年の具体的施策などを取りまとめた「松山創生人口１００年ビジョン　先駆け戦略」を平成  ２８年１月に策定しました。  今後は、このビジョンと戦略に沿って、市民や事業者、関係団体などの皆さんとともに、オール松山体制で、少子化対策をはじめ移住定住対策や地域経済活性化などに取り組んでいきます。 | 企画戦略課  冨田　真次  089-948-6943 |
| 2 | 地方創生を考えるときに、五明地区で利用できて、活性化につながるような方法はないのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、地方創生に向け、平成２８年度から地域おこし協力隊を派遣し、島しょ部や中山間地域などで隊員の皆さんとともに地域活動を行うことで、地域活性化や課題解決の支援を行う予定です。  五明地区でも隊員の募集を始めていますので、地域の皆さんのご意見をお伺いしながら、事業を進めていきたいと考えています。 | 市民参画まちづくり課  大舘　隆史  089-948-6963 |
| 3 | バス路線を少しでも長く維持できるようにしてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 路線バスは、地域の方にとって通勤や通学、通院などの貴重な交通手段ですので、松山市では、現状の路線維持のため、交通事業者に赤字の一部を補助しています。  今後も、交通事業者と協議しながら、バス路線の確保に努めていきたいと考えていますが、路線を維持していくためには、地域の皆さんのご利用も必要になりますので、ご協力をお願いします。 | 都市・交通計画課  松田　博  089-948-6846 |
| 4 | 松山市内から五明に移住してきたり、二世帯住宅にして五明に住む人にも補助が出るようにしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 平成２８年５月から、良好な住環境を整備し、空家の増加を抑制する住宅施策として「わが家のリフォーム応援事業」を実施します。  これは、省エネ・バリアフリー・耐震化・子育て支援の４つのタイプの基本工事への補助に加えて、市外から移住してくる方への「移住者加算」、平成２８年４月１日以後に中古住宅を購入し基本工事をした方への「リノベーション加算」、新たに三世代同居・近居になる方、または、お子さんが３人以上の多子世帯に該当する方への「三世代同居・近居、多子世帯加算」があり、最大で１００万円の補助を受けることができますので、是非この制度をご利用いただければと思います。 | 住宅課  越智　博英  089-948-6934 |
| 5 | 木材をリフォームや新築時に有効活用してほしい。山が荒れて、鳥獣の餌がないので、スギやヒノキを切り出した後にドングリの木を植えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、公共建築物を新築する際に、温もりがあり快適性に優れた木材の利用を促進することで、二酸化炭素の排出の抑制など循環型社会の形成や森林の適正な整備につなげています。  また、健全な森林育成のため、スギ・ヒノキの人工林の間伐を行い、さらに、石手川ダムの集水区域では、放置竹林の伐採後に広葉樹を植栽し、その後７年間、下刈りも実施するなど、幅広く山の活性化に取り組んでいます。 | 公共建築課  井手　一成  089-948-6535  農林水産課  猪木　伸二  089-948-6564 |
| 6 | 市道7号線（城山と恩地間）の崩れているところを整備してほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 市道五明７号線は、県からの補助を受け昭和５９年から平成１３年頃まで道路改良工事を行っていましたが、補助額の減少に伴い事業が縮小したため、当該区間が未改良となっています。  今後は、安全性を確保するため、路肩の補強や道路の整備など、できうる方策について、地元の方々や関係機関とも協議しながら検討を進めていきます。 | 道路建設課  仙波　好弘  089-948-6464 |
| 7 | 地域おこし協力隊が活動しやすい環境づくりをお願いしたい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 地域おこし協力隊は、松山市の職員として採用しますが、隊員がある程度の裁量を持って、柔軟な勤務時間で活動できるよう予定しています。また、活動を支援するため、隊員を受け入れていただくまちづくり協議会や地域活動を行う隊員の意向をできる限り尊重したいと考えています。 | 市民参画まちづくり課  大舘 隆史  089-948-6963 |
| 8 | 五明小学校の将来について市で何か検討しているのか。五明小学校の存続をお願いしたい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 五明小学校では、近年、児童数が減少する中、一定の児童数を保ち、地域社会の教育力を生かした、主体的で創意工夫ある教育活動を展開するために、平成  ２０年度から、市内全域から通学できる制度を導入しています。  平成２１年度から通学用バスの運用を開始し、毎年１１月頃に入学者の募集を行い、学校の存続に向けて取り組んでいます。 | 学校教育課  松本　俊秀  089-948-6591 |
| 9 | 移住促進にあたって、子育て世帯のための施策もされているのか。 | ■可　能  ■対応済  ■今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 現在、松山市では、保育園や児童クラブの送り迎えや子どもの一時預かりに利用できる「ファミリー・サポート（育児）」と「イクじぃ・ばあばママサービス」の利用料を助成しています。なお、移住者の皆さんに対しては、助成の対象となる利用時間を増やし、移住促進と子育て支援につながる施策を平成２８年度中に開始する予定です。  　また、移住を検討されている若い世代の方に、松山の暮らしを知ってもらうため、平成２８年３月に、先輩移住者のインタビューや移住までの流れなどを紹介した移住ガイドブックを制作し、その内容を移住ウェブサイト「いい、暮らし。まつやま」でも閲覧できるようにしています。  　加えて、移住・定住を促進するため、松山市オリジナルロードムービー「移住お遍路Moving☆5」をインターネット上で公開し、松山で暮らすことの魅力を伝えています。  さらに、松山市役所本館５階（ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進課内）に移住相談窓口や専用電話（℡：089-948-6095）を設けて、移住希望者が相談しやすい環境を整備しています。 | 子育て支援課  森岡　繁  089-948-6411  ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進課  三瀬 史  089-948-6707 |
| 10 | 「五明っ子クラブ」は支援の必要な子どもが多いので、市に運営の支援をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 放課後子ども教室に、特別な支援が必要な児童を受け入れることで、教育活動推進員などの増員が必要となる場合には、他の事業と調整の上、委託料を増額することでの支援ができます。  また、平成２７年度には特別支援教育の専門の講師による研修会を実施しましたが、今後も、教育活動推進員などの必要な知識の習得を図っていきます。 | 地域学習振興課  平野　智彦  089-948-6813 |
| 11 | 教育委員会は、五明小学校の子どもたちの現状を把握して、子どもたちのために教育現場を見直してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 五明小学校には、五明小の特色ある教育活動を希望され、校区外から転入学している児童がいます。  五明小学校に限らず、各学校には、様々な個性を持つ児童が通学していますので、教育委員会としても、生活支援員等を配置したり、特別支援教育指導員が見守りを行なったり、現場の実情に沿った対応をしていきます。 | 学校教育課  松本　俊秀  089-948-6591 |
| 12 | 五明小学校に弾力化で通う児童を増やすためにも、下校時間を遅らせたり、ルート変更するなど通学バスの運営に弾力性を持たせてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 現在の通学バスは、平成２１年の運行開始から、最適な時間・ルートを設定していますので、一時的な状況だけで、時間・ルートを変更することは難しいと考えています。今後、より多くの児童に応募していただけるよう、子どもの安全を考慮した上で乗降所の変更など可能な範囲で弾力的な運営を検討していきます。 | 学校教育課  松本　俊秀  089-948-6591 |